

第 10 課

ヨハネの福音書 第10章

この課であなたが学ぶことは……

羊の囲いのたとえ話
よい牧者であるイエス
ユダヤ人に拒まれたイエス

羊の囲いのたとえ話

ヨハネの福音書10：1～6を読んで下さい。

たとえ話とは、靈的な真理を自然界の物ごとにたとえて説明する短い話です。このたとえ話では、イエスが羊を守り養う良い牧者として書かれています。当時の羊飼いは、いつも羊の名を呼びながら先頭に立って歩き、羊は羊飼いの声をよく知っていて彼に従っていくのです。他の牧者がその群に近づいて来ても、羊は決して間違えることはありません。



自習のために

- 1 イエスはなぜご自分をよい牧者と呼ばれたのですか。
 - 1) 多くの羊を所有していたから。
 - 2) よく羊と山羊の世話をしていたから。
 - 3) よき牧者は自分の羊を世話するように、ご自分に従って来る者を導かれるから。

よい牧者であるイエス

ヨハネの福音書10：7～21を読んで下さい。



イエスはまたご自分を羊の門にたとえられました。牧者たちは、羊を野生の動物から守るために堀で囲んだ家畜小屋で、夜も羊の番をしていました。羊がみな囲いの中に入り安全を確かめてから、牧者は開いている門に座り羊の番をしたのです。牧者がここにいてくれる限り羊は安全でした。

そのために強盗は門から入ろうとはせず、塀を乗り越えて羊を盗みに来るのです。イエスは一部の宗教家がちょうどそのような強盗と同じであると言われました。そして彼らは心から人々を愛さず、ただ利用しているにすぎないことを指摘されました。

よい牧者であるイエスは、羊を滅ぼすためではなく、羊が豊かないのちを持つために来られたのだと語られました。豊かないのちとは、この地上でのすばらしい人生と、天国での永遠のいのちのことです。

イエスは「私は門です。だれでも私を通して入るなら救われます」と言われました。イエスは数多くある門のうちの一つではなく、唯一の門であると言われたのです。ある人々は、神に近づくために預言者、聖人、聖母マリアなどを通し、または教会員になるなどと言いますが、救いへの唯一の門はイエスだけなのです。

イエスはまた、人は門の中に入らなければならないことを教えました。それはちょうど羊の門が開かれていて羊が入るよう招くように、全世界の人々がイエスのもとに来て永遠のいのちを持つよう招いておられるのです。しかし神は、人々がイエスに属することを強制はされません。各自が考え、判断し、羊が囲いの中に入るように、決断することによって救われるのです。そのように自らの心によってキリストの救いは受けられることは明白なことなのです。

イエスは、ご自分の羊のためにいのちを捨てると言われました。だれもイエスのいのちを奪うことはできませんが、イエス自らのいのちを捨てることを選択されたのです。イエスがこのように語られた

点において、すでに一部の人々がイエスを殺すべくいのちをねらっていたのです。十字架に釘づけられて死ぬ時が来ようとしていました。イエスはご自分の死ぬべき時が来たとき、敵がいのちを奪うとお救しにはなりましたが、イエスにとって死ぬことが最大の目的でないことを知っておられ、「私は再びいのちを得るためにいのちを捨てるのです」と言われました。それは死より復活し、死に打ち勝つ力を証明するためでした。イエスの復活こそ、彼が神の御子であることを実証するものなのです。



このことばを聞いた人々は再びつまづきましたが、ある人々は信じた。すなわちかれを信じなかった者は彼の羊ではなく、彼を拒んだ者だけが彼の羊だったのでした。



自習のために

- 2 救いへの道はいくつありますか。
 - 1) 救われるためには多くの宗教があり多くの道がある。
 - 2) 聖母マリヤ、聖人、預言者、教会。
 - 3) 救いの道はただ一つ、それはイエスである。
- 3 救われるために何をしなければなりませんか。
 - 1) 門の中に入る。
 - 2) だれかが門を開くまで待っている。

3) 何もしなくてもよい。

4 羊に対してイエスの愛をどのように表現されましたか。

- 1) 緑の牧場に導く。
- 2) 羊のためにいのちを捨てる。
- 3) 静かな川のほとりに導く。

ユダヤ人に拒まれたイエス

ヨハネの福音書10：22～42を読んで下さい。

イエスがご自分を神の子であると言ったり(36節)、従う者には遠のいのちを与える(28節)と言ったので、人々はイエスを殺そうとしました。しかし、ある人々はイエスをよい牧者として受け入彼に従ったのです。イエスに従うか、それとも迷う羊のように自の道を行くのかは、あなた自身で選ばなければなりません。



自習のために

- 5** イエスがご自分をよき牧者にたとえて話されたとき、人々はどのように受け止めましたか。
- 1) ある者は彼を殺そうとし、ある者は従った。
 - 2) 彼らはみなイエスを拒んだ。
 - 3) 彼らはみなイエスを信じた。

- 6 この学課の終りの答えと合わせて確認して下さい。
- 7 はじめの10課を終了されましたので、学生レポート問題集第1部を解答して下さい。1～10課を復讐し、答案用紙に書き込む方法は学生レポート問題集の指示に従って下さい。そして解答用紙を学生レポート問題集の最後のページにある住所に郵送して下さい。



正 解

- 1 3) よき牧者が自分の羊を世話するように、ご自分に従ってくる者を導かれるから。
- 4 2) 羊のめたにいのちを捨てる。
- 2 3) 救いの道はただ一つ、それはイエスである。
- 5 1) ある者は彼を殺そうとし、ある者は彼に従った。
- 3 1) 門の中に入る。

記入欄

記入欄

記入欄

この聖書通信講座に使用しました聖書の引照は、
すべて〔日本聖書刊行会〕新改訳聖書からです。

学習ガイド ヨハネの福音書 第2回分

1985年12月1日 第1版印刷発行 © 1980 ICI

著者	レックス・ジャクソン
翻訳者	中 沢 イ サ ク
発行所	国際聖書通信学院 〒170 東京都豊島区駒込3-15-20
印刷所	マスターライト印刷(株) 〒136 東京都江東区亀戸3-59-7

落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。

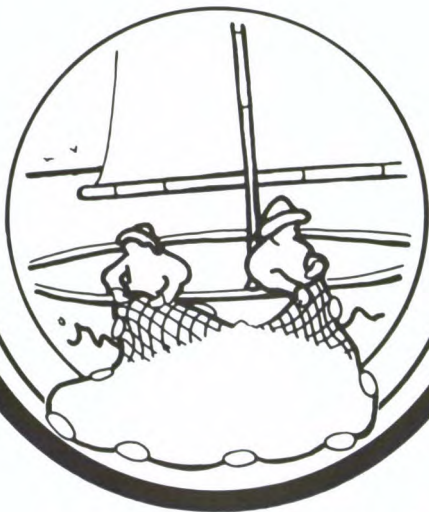
II

2

クリスチャンの生活

学習ガイド

ヨハネの 福音書



— 第3回 —



国際聖書通信学院

STUDY GUIDE
JOHN

By
KEX JACKSON

C 1981, 1984 1986

All Rights Reserved

International Correspondence Institute
Brussels, Belgium

Printed at Master Light, Tokyo Japan, 1990

目 次

第3回分

第11課	ヨハネの福音書	第11章	94
第12課	ヨハネの福音書	第12章	104
第13課	ヨハネの福音書	第13章	114
第14課	ヨハネの福音書	第14章	120
第15課	ヨハネの福音書	第15章	126
第16課	ヨハネの福音書	第16章	134